

2019年10月29日

博報堂生活総合研究所 生活者が選ぶ“2020年 ヒット予想” & “2019年 ヒット商品”ランキングを発表

“2020年 ヒット予想”

1位「東京2020オリンピック・パラリンピック」2位「ドライブレコーダー」3位「キャッシュレス決済」…

生活者が選んだのは、社会の大きな節目と向き合う商品・サービスキーワードは【**変化本番**】

博報堂生活総合研究所は、このたび、生活者が選ぶ“2020年ヒット予想”をまとめました。

本レポートは、今年、世の中で注目されたと思われる商品やサービス、コンテンツなどを生活者に提示し、「2020年以降、話題になりそう/人々の生活に普及・浸透していそう」と思うかを調査、「そう思う」「ややそう思う」という予想の強弱を反映するよう結果をポイント化したランキングとヒット予想の理由を分析し、“2020年ヒット予想”をまとめたものです。(調査詳細は4ページを参照)

“2020年 ヒット予想”のキーワードは【**変化本番**】です。2020年は東京オリンピック・パラリンピックの開催や、消費増税に伴うキャッシュレス化の推進、5G・IoT(Internet of Things)・AI(人工知能)の実用化など、社会全体に大きな変化をもたらす事象や最新技術の実装が本番を迎える年です。生活者の注目は、いよいよ現実のものとなり始めた変化に向き合う商品・サービスに集まっています。期待と不安の両方が高まるなか、「まずは飛び込んでみよう」「まずは試してみよう」という気運が広がっていると思われます。

なお、“2020年 ヒット予想”と合わせ、「2019年、ヒットした/話題になった」と思うものも調査しています。「タピオカ(台湾文化)」(1位)をはじめとした、街角での行列や店舗の増加を通して、広がりが目に見えるヒットが上位となりました。また、今年が節目の「新元号」「増税」関連の事象が注目を集めたほか、開催が来年に迫った「東京2020オリンピック・パラリンピック」も7位にランクインしています。

“2020年 ヒット予想” ランキング(全体) n=1,008

1	東京2020オリンピック・パラリンピック	79.0点
2	ドライブレコーダー	75.5点
3	キャッシュレス決済	73.5点
4	高齢ドライバーの事故防止策	72.0点
5	QRコード決済	69.0点
6	AI(人工知能)	67.5点
7	5G(ファイブ・ジー)	62.5点
8	自動運転システム搭載車	62.0点
8	無人レジ、無人店舗	62.0点
10	熱中症対策商品	60.5点
10	消費増税	60.5点
12	テイクアウト	59.0点
12	ドローン	59.0点
14	外国人向けサービス	57.0点
15	VR(仮想現実)	54.5点
16	廃プラスチック運動	54.0点
17	フリマアプリ	53.5点
18	おひとりさま用の商品やサービス	52.0点
19	eスポーツ	51.5点
19	スマートホーム、スマート家電	51.5点
19	副業	51.5点
22	終活	51.0点
23	IoT(Internet of Things)	50.5点
23	働き方改革	50.5点
23	プログラミング教育	50.5点
26	個人が配達するフードデリバリー	49.5点
26	資産形成、資産運用	49.5点
28	クラウドファンディング	49.0点
28	ポイ活	49.0点
30	時短家電	48.5点

ランキング分析による5つの【**変化本番**】グローバルイベントによる【**変化本番**】

56年ぶりの開催となる「東京2020オリンピック・パラリンピック」(1位)と、それに伴って増加が予想される観光客向けの「外国人向けサービス」(14位)に注目が集まりました。

次世代通信による【**変化本番**】

来年の実装が予定されている次世代通信「5G(ファイブ・ジー)」(7位)と、それによる「IoT(Internet of Things)」(23位)、「eスポーツ」(19位)の進化に期待が集まっています。

キャッシュレス化による【**変化本番**】

「消費増税」(10位)に伴いポイント還元が実施される「キャッシュレス決済」(3位)、「QRコード決済」(5位)が上位となりました。

働き方改革による【**変化本番**】

「働き方改革」(23位)を受けて「副業」(19位)がランクインしたほか、空いた時間を活用できる「個人が配達するフードデリバリー」(26位)や「フリマアプリ」(17位)といった新しい働き方・稼ぎ方にも注目が集まっています。

超高齢化による【**変化本番**】

「高齢ドライバーの事故防止策」(4位)、「自動運転システム搭載車」(8位)に注目する声が多く集まりました。また、「資産形成・資産運用」(26位)や「終活」(22位)など、長期化する人生に自ら対処しようとする動きも高まっています。

付帯資料①. “2020年 ヒット予想” ランキング(性別／性年代別)

(性別)

【男女別の特徴】

男女で共通の項目は7項目。なかでも男性は技術まわり、女性は生活まわりのものごとが上位に

男女ともに1～4位は「東京2020オリンピック・パラリンピック」「ドライブレコーダー」「キャッシュレス決済」「高齢ドライバーの事故防止策」の順。男女共通の項目は10項目のうち7つにも及んでいます。男性では「5G」(6位)、「自動運転システム搭載車」(8位)、「ドローン」(10位)など、技術の進化や活用への期待が特徴的。女性では「熱中症対策商品」(7位)「テイクアウト」(8位)「消費税増税」(10位)など、暮らしに身近な項目が上位に入りました。

男性		n=504
1	東京2020オリンピック・パラリンピック	73.0点
2	ドライブレコーダー	71.0点
3	キャッシュレス決済	68.0点
4	高齢ドライバーの事故防止策	67.0点
5	AI(人工知能)	65.5点
6	5G(ファイブ・ジー)	64.0点
7	QRコード決済	63.0点
8	自動運転システム搭載車	60.0点
9	無人レジ、無人店舗	57.5点
10	ドローン	57.0点

女性		n=504
1	東京2020オリンピック・パラリンピック	85.0点
2	ドライブレコーダー	80.0点
3	キャッシュレス決済	79.0点
4	高齢ドライバーの事故防止策	77.0点
5	QRコード決済	75.0点
6	AI(人工知能)	69.0点
7	熱中症対策商品	67.5点
8	無人レジ、無人店舗	66.0点
9	テイクアウト	65.5点
9	消費税増税	65.5点

(性年代別)

【男性年代別の特徴】

上位10項目のうち7項目が全年代で共通となりました。10代、20代で「VR(仮想現実)」。10代～30代で「無人化(無人レジ・無人店舗)」、「自動運転システム搭載車」は10代と40～60代でランクイン。40代、50代では「熱中症対策商品」、60代で「廃プラスチック運動」が10位に入っています。

【女性年代別の特徴】

女性は上位10項目中、4項目が全年代で共通しています。10代では「フリマアプリ」「インスタ映え」がランクインしたほか、中高年齢層では「熱中症対策商品」や「高齢ドライバーの事故防止策」が上位となりました。60代では「終活」もランクインしています。

男性 15～19歳		n=84
1	キャッシュレス決済	72.5点
2	東京2020オリンピック・パラリンピック	71.0点
3	AI(人工知能)	69.5点
4	無人レジ、無人店舗	69.0点
5	QRコード決済	68.5点
6	自動運転システム搭載車	65.5点
7	ドライブレコーダー	64.5点
7	5G(ファイブ・ジー)	64.5点
9	VR(仮想現実)	61.5点
10	高齢ドライバーの事故防止策	59.5点
10	ドローン	59.5点

女性 15～19歳		n=84
1	東京2020オリンピック・パラリンピック	82.0点
2	キャッシュレス決済	74.5点
3	無人レジ、無人店舗	70.0点
4	AI(人工知能)	69.0点
5	QRコード決済	68.5点
5	フリマアプリ	68.5点
7	ドライブレコーダー	68.0点
8	テイクアウト	67.5点
8	消費税増税	67.5点
10	インスタ映え	66.0点

男性 20～29歳		n=84
1	東京2020オリンピック・パラリンピック	74.5点
2	キャッシュレス決済	69.5点
3	ドライブレコーダー	68.5点
4	高齢ドライバーの事故防止策	65.5点
4	QRコード決済	65.5点
6	AI(人工知能)	65.0点
7	無人レジ、無人店舗	63.5点
7	VR(仮想現実)	63.5点
7	5G(ファイブ・ジー)	63.5点
7	消費税増税	63.5点

女性 20～29歳		n=84
1	東京2020オリンピック・パラリンピック	87.5点
2	キャッシュレス決済	84.5点
3	QRコード決済	80.5点
4	ドライブレコーダー	78.5点
5	無人レジ、無人店舗	72.5点
5	AI(人工知能)	72.5点
5	消費税増税	72.5点
8	テイクアウト	70.0点
9	高齢ドライバーの事故防止策	69.5点
10	外国人向けサービス	68.0点

(性年代別－続き－)

男性 30～39歳

n=84

1	ドライブレコーダー	69.5点
2	東京2020オリンピック・パラリンピック	67.5点
3	キャッシュレス決済	66.0点
4	5G(ファイブ・ジー)	65.5点
5	高齢ドライバーの事故防止策	63.0点
5	QRコード決済	63.0点
7	AI(人工知能)	60.5点
8	ドローン	57.0点
9	無人レジ、無人店舗	55.0点
10	消費増税	54.0点

女性 30～39歳

n=84

1	東京2020オリンピック・パラリンピック	91.0点
2	ドライブレコーダー	84.0点
3	キャッシュレス決済	83.5点
4	高齢ドライバーの事故防止策	81.5点
5	QRコード決済	77.5点
6	熱中症対策商品	72.5点
7	外国人向けサービス	69.5点
8	自動運転システム搭載車	68.5点
8	AI(人工知能)	68.5点
10	無人レジ、無人店舗	67.5点

男性 40～49歳

n=84

1	東京2020オリンピック・パラリンピック	80.0点
2	ドライブレコーダー	72.5点
3	キャッシュレス決済	70.0点
4	5G(ファイブ・ジー)	66.0点
5	高齢ドライバーの事故防止策	65.0点
5	AI(人工知能)	65.0点
7	自動運転システム搭載車	60.0点
7	QRコード決済	60.0点
9	IoT(Internet of Things)	56.5点
10	熱中症対策商品	55.0点
10	消費増税	55.0点

女性 40～49歳

n=84

1	東京2020オリンピック・パラリンピック	84.0点
2	ドライブレコーダー	81.0点
3	高齢ドライバーの事故防止策	80.5点
4	キャッシュレス決済	78.5点
5	QRコード決済	75.5点
6	熱中症対策商品	69.5点
7	無人レジ、無人店舗	68.0点
8	テイクアウト	67.5点
9	自動運転システム搭載車	66.0点
9	廃プラスチック運動	66.0点

男性 50～59歳

n=84

1	高齢ドライバーの事故防止策	72.0点
2	東京2020オリンピック・パラリンピック	71.5点
3	ドライブレコーダー	71.0点
4	キャッシュレス決済	60.5点
4	AI(人工知能)	60.5点
6	自動運転システム搭載車	58.5点
7	5G(ファイブ・ジー)	57.0点
8	QRコード決済	56.0点
8	ドローン	56.0点
10	熱中症対策商品	53.5点

女性 50～59歳

n=84

1	東京2020オリンピック・パラリンピック	85.0点
2	ドライブレコーダー	82.5点
3	高齢ドライバーの事故防止策	82.0点
4	キャッシュレス決済	77.5点
5	QRコード決済	75.5点
6	自動運転システム搭載車	71.5点
6	熱中症対策商品	71.5点
8	AI(人工知能)	70.0点
9	外国人向けサービス	64.5点
9	消費増税	64.5点

男性 60～69歳

n=84

1	ドライブレコーダー	80.5点
2	高齢ドライバーの事故防止策	76.0点
3	東京2020オリンピック・パラリンピック	75.0点
4	AI(人工知能)	72.5点
5	キャッシュレス決済	68.5点
6	自動運転システム搭載車	66.5点
6	5G(ファイブ・ジー)	66.5点
8	QRコード決済	66.0点
9	ドローン	65.0点
10	廃プラスチック運動	60.5点

女性 60～69歳

n=84

1	ドライブレコーダー	86.5点
2	高齢ドライバーの事故防止策	82.5点
3	東京2020オリンピック・パラリンピック	81.0点
4	キャッシュレス決済	75.0点
5	熱中症対策商品	73.0点
6	QRコード決済	72.5点
7	ドローン	70.0点
8	AI(人工知能)	69.5点
9	廃プラスチック運動	66.5点
10	終活	65.5点

付帯資料②. “2019年 ヒット商品” ランキング(全体)

博報堂生活総合研究所は、生活者が選ぶ“2019年 ヒット商品”についても下記のようにまとめました。

参考: “2019年 ヒット商品” ランキング(全体)

n=1,008

1	タピオカ(台湾文化)	78.0点
2	ドライブレコーダー	75.5点
2	消費増税	75.5点
4	新元号	74.0点
5	キャッシュレス決済	69.5点
6	高齢ドライバーの事故防止策	68.5点
7	東京2020オリンピック・パラリンピック	68.0点
7	QRコード決済	68.0点
9	インスタ映え	66.0点
10	AI(人工知能)	62.0点
11	ドローン	59.0点
12	熱中症対策商品	58.5点
13	フリマアプリ	57.0点
14	映画『天気の子』	55.5点
14	働き方改革	55.5点
16	Tik Tok	53.5点
17	VR(仮想現実)	52.5点
18	eスポーツ	51.0点
19	個人が配達するフードデリバリー	50.5点
20	無人レジ、無人店舗	50.0点
21	自動運転システム搭載車	49.5点
22	テイクアウト	49.0点
22	廃プラスチック運動	49.0点
24	資産形成・資産運用	47.5点
25	ライブ配信	47.0点
25	終活	47.0点
27	外国人向けサービス	46.5点
27	イートインサービス	46.5点
29	糖質制限	46.0点
29	5G(ファイブ・ジー)	46.0点
29	クラウドファンディング	46.0点

ランキング分析によるヒットトレンド

■街角で広がりが見えるヒットが登場

近年SNS上での話題にとどまるヒットが続いていましたが、「タピオカ(台湾文化)」(1位)は若者を中心に多くの人々が持ち歩き、店舗や行列が急増するなど、街中で見て広がりを実感できるヒットとなりました。また、猛暑対策のポータブル扇風機などの「熱中症対策商品」(12位)のほか、「個人が配達するフードデリバリー」(19位)も、「街中で配達員をよく見かけるようになった」といった声が多く集まりました。

■今年が節目の「新元号」「増税」関連の話題が上位

5月に施行された「新元号」(4位)は、由来となった万葉集の関連書籍が書店で完売するなど、大きな話題となりました。また、10月に施行された「消費増税」(2位)と、それに伴ってポイント還元が行われる「キャッシュレス決済」(5位)・「QRコード決済」(7位)、および軽減税率が適用される「テイクアウト」(22位)も関心を集めました。

■オリンピック・パラリンピックは早くも話題

開催が来年に迫った「東京2020オリンピック・パラリンピック」(7位)は、チケットの抽選購入などで早くも大きな話題となり、7位にランクイン。また、大会開催に対応して増える観光客向けの「外国人向けサービス」(27位)も今年から注目を集めています。

調査概要

調査概要 新聞・雑誌・Webなどから、今年、生活者が関心を示した、世の中で注目されたとされる商品やサービス、コンテンツ、出来事などを収集し、うち80項目について調査。

調査地域 首都圏、京阪神圏

調査手法 インターネット調査

調査対象 15～69歳の男女 1,008人(有効回収数)

調査時期 2019年9月27日(金)～10月1日(火)

企画分析 博報堂生活総合研究所

実査集計 株式会社 H.M.マーケティングリサーチ

質問文

【A】「今年(2019年)、ヒットした/話題になった」と思いますか。

【B】「来年(2020年)以降、話題になりそう/人々の生活に普及・浸透していそう」だと思いますか。

商品やサービスなど調査で提示した80項目それぞれについて、【A】【B】の2つの質問に「そう思う」「ややそう思う」「そう思わない」の3段階で回答してもらった。「そう思う」「ややそう思う」という回答には理由もあわせて聴取した。

[ポイントの算出法]

【A】【B】の2つの質問に対する「そう思う」「ややそう思う」「そう思わない」の回答に、それぞれ100点、50点、0点を割り振って平均得点を算出した。満点は100点。

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社博報堂 広報室 玉・大野

TEL: 03-6441-6161